

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択必修
担当教員			
高石 双樹 [Soujyu Takaishi]			
人間コミュニティ学科	講義		
添付ファイル			

授業の概要・授業のキーワード	<p>釈尊・親鸞の思想を通して、深く人間をみつめる力を身につけることを、目的とします。 わたしたちは、現代という時代の、具体的な社会の中に生きる存在です。したがって、具体的な現代社会の様々な問題を通して、仏教に生きる人間の姿勢について深く学ぶことができる講義にしたいと考えています。 授業のキーワード：「なぜだろうか」 [why] ・ 「本当にそうだろうか」 [is it really so]</p>
授業計画	<p>第1回 はじめに 私たちの、身近な社会の諸問題を通して 事前学修：「コロナ」の状況の中、私たちは今、何を考え、何を学ぶか、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第2回 現代について① 「現代」は、いつからか 事前学修：「現代」はいつからか、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第3回 現代について② 「戦後」ということについて 事前学修：「終戦」と「敗戦」という表現について、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第4回 人間について① 釈尊の生涯(1) 事前学修：釈尊の「誕生」と「四門出遊」について、調べる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第5回 人間について② 釈尊の生涯(2) 事前学修：ブッダの「悟り」について、考えてみる また、「梵天勧請」について、調べる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第6回 人間について③ 親鸞について(1) 事前学修：「承元の法難～念仏弾圧」について、調べる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第7回 人間について④ 親鸞について(2) 事前学修：親鸞の伝道の意義について、またその人間観について、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第8回 人間について⑤ 親鸞について(3) 事前学修：親鸞の伝道の意義について、またその人間観について、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第9回 現代と人間について① 戦争と人間(1) 事前学修：「戦争放棄」と「平和主義」について、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第10回 現代と人間について② 戦争と人間(2) 事前学修：「憲法」と「戦争責任」について、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第11回 現代と人間について③ 核と人間(1) 事前学修：「核開発」と「原子力開発」について、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間）</p> <p>第12回 現代と人間について④ 核と人間(2)</p>

	<p>第13回 事前学修：ビキニ事件～第五福竜丸について、調べる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間） 現代と人間について⑤ 基地と人間(1)</p> <p>第14回 事前学修：沖縄戦について、調べる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間） 現代と人間について⑥ 基地と人間(2)</p> <p>第15回 事前学修：「基地」が建設されるということについて、考えてみる（2時間） 事後学修：配布資料を見なおす（2時間） おわりに “いのち”と人間</p> <p>事前学修：講義全体をふりかえる（2時間） 事後学修：“いのち”を尊びあって生きていくということを考える（2時間以上）</p>
関係資格	ビジネス実務士資格（選択） 情報処理士資格（選択）
科目に関する担当教員の実務経験内容および年数	高石 双樹：1998年より、浄土真宗の住職として、親鸞の思想に基づく寺院活動・社会実践にとりくみつつ、布教使として伝道活動を行っています。その間、筑紫女学園高校や大学の非常勤講師を経験して、今日に至っています。
ディプロマ・ポリシーに関わる項目	人間コミュニティ学科DP1：建学の精神を理解し、現代社会に対する深い知識とそれを表現する能力を身につけるために規定の「教養科目」を修得している。
到達目標	仏教の基本的な、ものの見方・考え方を学び、そこから、現代社会の様々な問題について、主体的に考え、それらの問題について、自分自身の考えを述べるができるようになる。
成績評価基準・方法	平常点（受講態度・提出物等） 50% レポート 50%
学修方法	講義の受講と合わせて、ディスカッションやアクティブラーニングを取り入れ、聞くことに加え、発言する機会をできるだけ大切にしたいと考えています。積極的に発言してほしいです。
担当者からのメッセージ	釈尊の悟りについて学び、親鸞の生き方に学び、現代社会をより豊かに生きぬく力を身につけてほしいと考えています。 そのためにも、新聞やニュースに目を通して、講義に臨んでほしいです。映像学習などもとり入れることを考えています。 講義の内容は、講義の進行状況により、変更が生じる場合があります。
テキスト・参考文献	『聖典・聖歌』（龍谷総合学園発行）を持参。持っている人は『真宗聖典註釈版』を持参。 その他テキストは、講義ごとに資料を配布します。参考文献は講義の中で紹介します。
オフィスアワー	授業の前後で必要に応じて対応します。